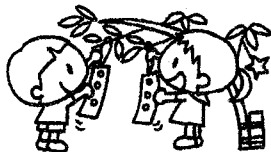


ほほえみ

年少だより



担任 中村 孝枝

織り姫と彦星が1年に一度だけ会える七夕。今年は晴れて天の川が見えるかな?楽しみですね。子どもたちと一緒に飾りを作っていきます。短冊に願い事...子どもたちはどんな願い事をするのでしょうか。きっと夢と希望にあふれた願い事ですね。

6月の保育より



かぶとむしが生まれたよ

園長先生にいただいたかぶとむしの幼虫がさなぎになる様子をずっと観察していた子どもたち。ある日、飼育箱の土の表面にカビのようなものを発見。一緒に取り除いていると一匹のメスが顔を出しました。「あっ、生まれてる。」と顔を見合わせて喜ぶ子どもたち。少し周りを掘ってみると次々に成虫が出てくるではありませんか。「もしかして他にも?」と思い、飼育箱の土を全て新聞紙の上に開けてみると次々と成虫が出てきてその数何と25匹、さなぎは7匹でした。みんな、大喜び。直ぐにひばりさん、はとさん、園長先生に知らせ、喜びを味わっていました。

飼育箱を2つにし、さなぎはトイレトペーパーの芯でおうちを作り直して土に戻しました。大量のかぶとむしに大量の昆虫ゼリーをあげて次の日楽しみにしていましたが、何も減っていない「かぶとむしさん、お腹減っていないんだね」とがっかりした様子でした。連休明けゼリーが全て無くなっているのを見て「食べてくれてよかったね」と喜びながら飼育箱を掃除していると、オスのかぶとむしがブーンと飛び立ってしまいました。そこへカラスがやってきてパックとくわえていってしまいました。その姿に呆然とした子どもたち。その後は「カラスが食べちゃった」と大騒ぎでした。自然界の生き物はきびしいですね。

収穫したよ

自分達で育ててきたスナップエンドウ、たまねぎ、じゃがいも、サラダごぼうを収穫しました。はとさんの育てたトマトもいただきました。収穫したその日に支援員の先生たちが調理して食べるのですが、これらの食材はこれからもチップスやカレーに変身予定です。つばめさんはサラダごぼうを「アイスにして食べたい」ということなので、挑戦してみます。果たしてどんな味になるのでしょうか?

7月のねらい

○夏ならではの遊びを友達や保育者と存分に楽しむ。



一緒に遊ぶ楽しさがあじわえるように

遊びを通して気の合う友達と過ごすことが多くなっています。遊具玩具の取り合いや、気持ちのぶつかり合いなどのトラブルも出てくると思いますが、必要に応じて仲立ちをし、相手の気持ちに気づけるようにしていきます。喧嘩しても子どもは仲良しです。

自分の思いを言葉にして話そう!

自分を表現する方法には、言葉や体の表現、何かを形として作り出すことなど、いろいろあります。友達と関わる中でどれだけ自分らしさを出せるか、『いや』なことは『いや』と言えるか、やりたい遊びに素直に取り組めるかなど、自分で考え、自己発揮することが大切です。場面をとらえ、しっかりと支援していきます。

プールが始まります

夏の日差しが強い日は、水を使った遊びが心地よいですね。プール遊びが始まります。水遊びは、水に親しんでいく姿が一人一人違います。着替えの手順や、取り組む様子を丁寧に把握し、徐々に水なれができるように支援したり、楽しい遊びを用意したりしていきます。健康・安全に十分配慮して取り組みたいと思います。ご家庭でも、体調管理、プールカードの提出をよろしくお願いいたします。

